

外来診療のご紹介

眼 科

一般眼科とロービジョン外来を積極的にお受けしています

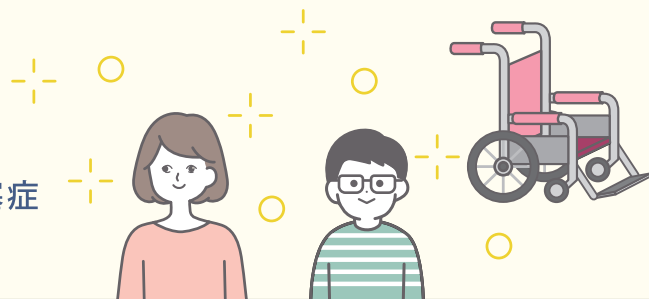
当科は「リハ施設にある眼科」というよりむしろ「眼科のリハを行う診療科」です。
目が見えにくくなった方に、残っている視機能（保有視覚）の評価を行い、機能訓練、補助具選定を行い、社会資源の活用などの情報提供を行って、さらにはメンタルにもサポートしていく。これが眼科のリハです。

眼科領域のことで何かお困りの事がありましたら何なりとご相談ください。

一般眼科

主な対象疾患

- ・斜視 ・弱視 ・複視
- ・子どもの眼科疾患
- ・慢性期の眼科疾患
- ・糖尿病網膜症 ・網膜静脈閉塞症
- ・障害の方や車いすの方など



ロービジョン外来

当院では、医療の提供だけではなく、福祉部門の七沢自立支援ホームの視覚障害支援員の協力の下に見えない方、見えにくい方にいわゆる眼科治療とは異なる、訓練・補助具を用いた機能改善を目的としたリハビリテーションを行っています。

ロービジョン外来の内容

- ・ニーズ調査 ・視機能（保有視覚）の評価
- ・機能訓練 ・補助具選定 ・社会資源の活用などの情報提供
- ・メンタルのサポート ・ご家族へバーチャルロービジョン体験

使用する機器など



予約方法

■一般眼科（予約センター）
TEL:046-249-2489
（平日13時～16時15分）

■ロービジョン外来（眼科直通）
TEL:046-249-2528
（平日9時～17時）

アクセス

お車の方

- 新東名「伊勢原大山インター」より約10分
- 東名高速「厚木インター」より約30分
- 本厚木駅周辺から約30分

電車・バスの方

- 小田急小田原線の「本厚木駅」「愛甲石田駅」「伊勢原駅」からバスにて20～30分程度

詳しくはホームページでご確認ください

神奈川リハビリテーション病院 地域連携広報誌

かなりは 地域連携室 だ より



身体障害のある方々がリハビリの一環として作成した作品です。
趣味や遊びなどの作業活動をはじめ、多様なリハビリを提供しています。

特集

「こころ」と「からだ」を元気にする
リハビリテーション「作業療法科」

外来診療のご紹介

■予約方法 ■アクセス

2025.2

03



Kanagawa Rehabilitation Hospital

神奈川リハビリテーション病院

設置者 神奈川県 / 指定管理者 神奈川県総合リハビリテーション事業団

住所：〒243-0121
神奈川県厚木市七沢516番地

TEL：046-249-2220（代表）

地域連携室 TEL：046-249-2222

FAX：046-249-2515



Instagram



@kanagawa_reha_hospital

「こころ」と「からだ」を元気にするリハビリテーション 「作業療法科」



神奈川リハビリテーション病院では、共に歩み、チームで支え、安心できるリハビリテーション医療を提供しています。今回は当院の作業療法科についてご紹介します。

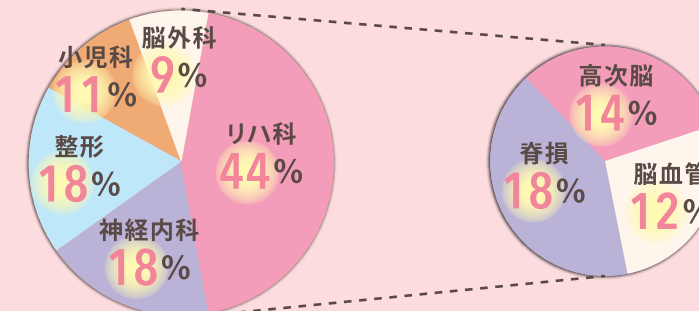
神奈川リハビリテーション病院作業療法科 (Occupational Therapy: OT) では、患者のニーズに合わせて生き活きとした生活を送れるよう、身の回りや家事動作、趣味や遊びなどの作業活動を通して、「こころ」と「からだ」を元気にするリハビリテーションを提供しています。

対象者は子どもから大人まで幅広く、脊髄損傷・後天性脳損傷・脳血管障害などの分野で、数多くの実績を積み上げて高度専門性を追求し、質の高い作業療法の提供を目指しています。

自分らしい生活が送れるように、患者の「今」と「これから」の豊かな生活づくりをお手伝いします。



作業療法対象者疾患
(2024.11 現在)



心身機能向上を目指した作業活動

麻痺により一人では難しい作業も、作業療法士と一緒にやり遂げることで、自信や達成感が生まれます。

また、ゲームや趣味を取り入れた楽しい練習を通じて、自分から積極的に活動に参加し、心や体を元気にすることを目指しています。



ロボットリハビリテーション

ロボットの空気圧により麻痺部分を優しく刺激したり、磁気刺激により動かにくい部位にも刺激を加えることができます。これにより、動作がスムーズになり、運動への意欲も高まり、体の回復を最大限にサポートします。



▲リハビリ補助ロボット
「パワーアシストハンド」

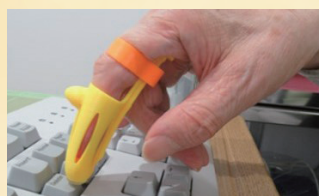


▲磁気刺激装置
「バスリーダー」

自助具作製

患者のニーズや困りごとを聞きながら、体に合った自助具を作っています。

また、リハビリテーションエンジニアと共同して、3Dプリンタを使ったオーダーメイドの自助具も作製しています。形状や大きさを調整し「あったらいいな」を実現することができます。



トイレ入浴評価室でのADL訓練

浴室評価室は段差昇降機があり、浴槽の高さや段差が調整できます。トイレ評価室は壁やドア・便器の位置が変更でき、自宅環境を正確に再現することが可能です。

これにより、早期から自宅と同じ状況で動作練習を行い、退院後の生活を見据えた訓練を提供しています。



退院準備のための自宅訪問

自宅を訪問して、患者や家族、地域のスタッフと一緒に、実際の生活環境で動作確認を行いながら、必要な福祉用具や住宅の改修について打ち合わせを行います。

退院後の生活のイメージを共有し、安心して新しい生活をスタートできるようお手伝いします。



自動車関連動作訓練

二俣川の免許センターと同じシミュレーターを使って、ハンドルの回転やアクセル・ブレーキの操作を、障害に合わせて練習します。

また、自家用車への乗り降りや車いすを車に積む練習も行い、必要なスキルを身につけます。

さらに、免許センターの作業療法士と連携し、安全に運転を再開できるようサポートします。



社会環境訓練

通勤や通学、買い物など、患者が一人で行きたい場所に行けるよう、電車やバスなどの公共交通機関を使った外出練習や買い物の練習を行っています。

この訓練を通じて、退院後の生活がスムーズに始められるよう、社会参加に向けた支援を行っています。

